



- ① 流行の“あご(トビウオ)”商品の数々。地元ではおなじみのソースまで並んでおり、長崎人のハートをも掴む
- ② 同店オリジナルの「長崎レトロ」シリーズ。チョコレート、ポップコーン、バナナチップの3種で、一番人気はコチラ
- ③ こちらも同店オリジナルの一品で、ドラゴンのロゴの入った「長崎ラムネ風ドロップス」。地元の方にも人気だとか
- ④ 店頭でイチオシ商品を照らすショーウインドウ。定期的に入れ替わる商品に行き交う人々も思わず足を止める

Information



株式会社 ノースアイランド
 (長崎市川口町13-1 長崎西洋館2Fヴェルグラス内)
 ☎・FAX 095-844-1379
 ドラゴンデリ: 長崎市尾上町1-1 アミュプラザ長崎1F
 ☎ 095-808-1125
 営 8:30~20:00
 休 年中無休

お客様を「元気にしたい」
 今や、色とりどりの商品がぎっしりと詰まった店内には、「長崎」と地名の入ったお菓子やキャラクターグッズ、県内の特産品、インバウンド向け

ドラゴンデリを長崎の「新名所」に
 「商品だけでなく、店全体に興味をもってもらえる店にしたい」と話す北島さん。
 「たとえば、他県の観光地には『お土産といえ』ば〇〇」というような有名土産品店があります

これまでの雑貨屋ではなく、長崎らしいお土産を取り扱った店にしようと考えました。もちろん土産品は初めての挑戦でしたので、当時はテナントの担当者さん達と他県の土産品店などを視察したり、自分で勉強しながら試行錯誤を重ねましたが、私の長年の営業としての経験や雑貨を取り扱うノウハウなども生かしつつ、ここまでやってきました」
 そうして、店舗が「土産品コーナー」「フードコート」「ファッションゾーン」の交わる位置にあることから、様々な文化が混在するアジアの中心を意識し、「長崎をイメージし作った」というドラゴンのロゴを入れた同店オリジナル商品をはじめ、輸入雑貨・食品を取り扱う新しいスタイルの土産品店としてスタートさせた。

の伝統工芸品や輸入雑貨・食品など、あらゆる客層を対象とした土産品がずらりと取り揃えられており、多くの人が足を止めて吟味する姿がみられる。
 「店員手作りのPOPには、商品の特徴や産地に加え、長崎にまつわる豆知識などが書かれており、お客様には興味深く見ていただけているようです」と胸を張る北島さん。
 「手頃なものも揃えていますので、修学旅行などで学生のお客様が大勢いらっしゃるのって、賑やかなんですよ。誰もが知っている銘菓も良いけれど、話題になるような新しいお土産だど受け取る人も笑顔になりますよね。当店のお土産で元気になるもたらえたらうれしいです」

「これは初めてみた」「面白いね」と観光客の方が笑顔でお土産を選んでいる姿は長崎市民としても喜ばしいことではないでしょうか。季節のイベントにあわせた店頭のディスプレイは地元の方もきっと楽しめるはず。ぜひ立ち寄ってみてください！



株式会社 ノースアイランド
 代表取締役 北島 利彦 さん



長崎土産を通じて地元も観光客も「元気にしたい！」

今回のがんばってますは、長崎の玄関口・長崎駅のアミュプラザ長崎1階「おみやげ街道」にある長崎らしくて、たのしいお土産がずらりと勢ぞろいした「ドラゴンデリ」を経営する、株式会社ノースアイランドの北島利彦さんをご紹介します。

ふ とん店から雑貨屋へ
 長崎で生まれ育った北島さん。東京の大学へ進学し、卒業後はパレルの仕事に就いていたものの、実家のとん店を手伝うため長崎へ戻ることに。その後、父から経営を任せられ、大型ショッピングセンターへ出店するなど尽力していたが、ネット通販の普及などにより「ふとんが売れなくなるかもしれない」と直感した北島さん。「当時雑貨ブームだったこともあり、フレグランスや生活雑貨を取り扱う店にも着手しました。全盛期には長崎福岡に8店舗構えることができ、次第に雑貨屋は、当社の代表する事業へ、そして輸入雑貨、土産品店へと変わっていきました。現在は、輸入食品・土産品のアミュプラザ長崎店「ドラゴンデリ」と、ミセス衣料の長崎西洋館店「ヴェルグラス」の店舗を展開しています」。

ド ラゴンデリのはじまり
 同店は、アミュプラザ長崎が長崎駅に誕生した平成12年9月に同時にオープン。以来約17年間、地元の人や観光客など多くの人が行き交うフロアを中心に位置し、土産品を通じて長崎を発信してきた。
 「観光都市・長崎の駅ビルにあることから、